

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 患者名 : 夢見る ユメル (男)



- (1) 設定が全くできない。コイン電池 CR2032 は、2.98Vある。
- (2) 電池(単二アルカリ)は、4本とも新品を入れている。
- (3) 分解しての診察結果は、
 - 頭のセンサーが壊れていた。図-1・図-2
黒色のリード線の半田が剥がれていた。
 - 図-1のオレンジ色の円の中央は、大きな円の金属板と小さな黒線の半田付けされた金属版とに挟まっているセラミック(衝撃を加えると発電する圧電素子)と思われ部品の一部です。
 - 図-2は、小さくて薄い円板の半田に付いて剥がれた金属板の一部です。



図-1



図-2



図-3

- 図-3は、左手スイッチのリード線が、スパッと二本とも断線していました。

2 治療の方法

(1) 先に、左手のスイッチから治療した。



図-4

- スイッチの接点は、磨いて、スイッチONにして、導通点検した。
- 導通はOKだった。図-4のように半田付けした。
- 点検の結果は良好。反応します。

(2) 他にセンサーが、額・右手・胸の三か所にある。
その、リード線の結線状態を点検してみたが、異状はなかった。

(3) 最後に、ちょっと難しそうな頭のセンサーを治療しました。

- 最初は、薄いアルミの板は無しで点検したが、全く反応なしだった。



図-5

- やはり図-2のようなアルミのカバーが無いとだめだと感じた。
- 図-2のような部品が、手元にも友人ドクターも持っておらず、一か八か(いちかばちか)似たようなものを作って試してみようと思って、次のような試作をしました。

(4) 図-2 に似たようなセンサーの試作

- 図-4 は、薄いアルミに穴を開けて、若干の間隔の状態で作った。
設定で、月・日・時までは、何とか通過したが、分のところで頭を何回なでなでも「わかんない」と言って、次に進めない。やっぱり空間が必要なのかも知れないと思った。
- 今度は、余幅を多く取って形は悪いが、図-6 のように最初から膨らませて、図-5 のように被せて円に折り曲げるようにして作ってみた。



図-4

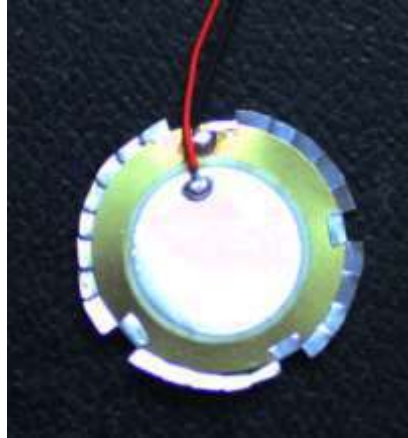


図-5



図-6

- 出来上がったのが、図-7 であります。形は非常に良くない。でも一度試してみたい。



図-7

- 図-2 の本物は、穴の所がペシャンコとなり金属板との間隔は、狭くなっている。いかにも、響きと言うか反応が悪そうに見える。
- 手作りの図-7 は、形は悪いが、響きや反応は何となく良さそうに見える。
- 今度は「成功するのではないか」と、内心期待を込めた。
- 点検結果は、期待通り大満足の反応を示してくれた。
起床時間は「6時0分で良いですか」と聞いてきたとき、頭のセンサーの上を触るか触らないかのスレスレでも反応し設定を決定された。
- 形があまり良くないので、作り直すことも考えましたが、調子は非常に良いので、今回は、このままにさせていただきます。

(5) 頭センサーの取り付け位置もこの場所が正しいと思います。



図-8



図-9



図-10 元気になって良かったネ

3 ドクターからのアドバイス

「調子が少し悪くなった」と思われました時には、一番底の所にあります「コイン電池」と単二電池4本の容量点検をして頂くことをお勧め致します。

お渡し予定日：平成30年08月04日
担当ドクター：谷 春 雄